

令和 5 年度
週 20 時間未満就労モデル事業

働きづらさを抱える人の
週 20 時間未満就労支援
就労・雇用事例集

令和 6 年 3 月

福岡県就労支援協同組合



目 次

1. 週 20 時間未満就労モデル事業について

- (1) はじめに2
- (2) 週 20 時間未満就労モデル事業の概要2

2. 企業雇用事例

- (1) 九州筑豊ラーメン山小屋 穂波店3
- (2) 小黑食堂4
- (3) 社会福祉法人 新光会 デイサービスセンター わかな5
- (4) 株式会社 百年プロジェクト6
- (5) トータルケア・システム 株式会社7
- (6) スーパースポーツゼビオ ゆめタウン大牟田店8

3. 求職者就労事例

- (1) 高齢者の就労事例9
- (2) 高齢者の就労事例 11
- (3) 高齢者の就労事例 13
- (4) 障がい者の就労事例（聴覚障がい） 15
- (5) 障がい者の就労事例（精神障がい） 17
- (6) 障がい者の就労事例（精神障がい） 19
- (7) 生活困窮者の就労事例 21

1. 週 20 時間未満就労モデル事業について

(1) はじめに

2018 年の日本財団の調査によると、就労していない障がいのある人をはじめ、ニート、ひきこもり、難病患者など、働きづらさを抱える人が全国の 8 人に 1 人、延べ 1,500 万人いると推計されます。福岡県にあてはめると、おおよそ 60 万人を超えると見込まれ、働きづらさを抱える人の社会からの孤立、分断、貧困と格差拡大は大きな課題となっています。

今年度、福岡県からの補助を受けて、福岡県就労支援協同組合（以下「当協同組合」と略す）が、就労困難者の働く場の創出のため、様々な働きづらさを抱える人が週 20 時間未満の短時間で働くことができる民間企業を開拓、マッチング、就労後の支援を行うことで短時間就労の有効性を実証確認するモデル事業を実施してきました。

この事例集は、令和 4 年度から実施してきた、週 20 時間未満就労モデル事業（以下「モデル事業」という）の取組結果を踏まえ、モデル地域の大牟田市・飯塚市で就職（雇用）まで結びついた事業利用者に事業参加のきっかけや感想等を聞き取り、具体的な支援内容とその効果をまとめたものです。

今後の取り組みの参考となれば幸いです。

2024 年 3 月

福岡県就労支援協同組合
理事長 中村 信二

(2) 週 20 時間未満就労モデル事業の概要

① 目的

就労困難者の働く場の創出のため、様々な働きづらさを抱える人が週 20 時間未満の短時間で働くことができる民間企業を開拓、マッチング、就労後の支援を行うことで短時間就労の有効性を実証・確認する。

② 対象者

本事業の支援対象者は、働きづらさを抱える人とし、次の例示に該当する者とする。

（長期無業者（ニート含む）、ひきこもり、難病患者、がん患者、生活困窮者、刑を終えて出所した人、犯罪被害者、非行等の問題を抱える少年、障がいのある人、高齢者、ひとり親）上記ほか、働きづらさを抱える人 など

③ 対象地域

飯塚市・大牟田市

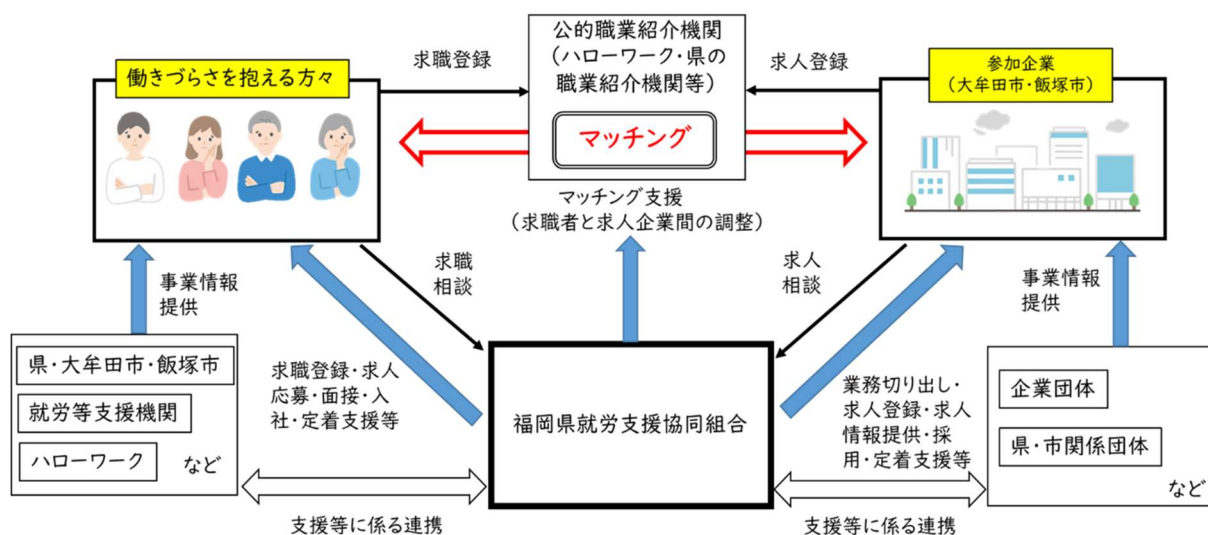
人口 10 万人以上で、事業への参加者及び雇用に協力する企業が一定数見込まれ、自治体の協力が得られる地域として福岡県が選定

④ 事業期間

令和4年度～令和5年度

(3) 令和5年度の支援体制

◆支援体制（図1）



・当協同組合が選任するコーディネーターが働きづらさを抱える人と人手不足などに悩む企業の間に入り、福岡県や飯塚市・大牟田市、各種機関などと連携しながらマッチングを行う体制（図1）とした。

2. 企業雇用事例

飲食店での雇用事例

九州筑豊ラーメン山小屋 穂波店



○概要

所在地：飯塚市 業 種：宿泊業・飲食サービス業

従業員：7名 設立年：1994年

仕事内容：九州筑豊ラーメン山小屋のフランチャイズチェーンとして、飲食サービスの提供

○事業に参加したきっかけ

サービス提供を行うスタッフが不足しておりシフトを組む際に苦勞していたところ、飯塚市から案内があり、モデル事業を知った。現状としても求人を募集していたが決まらない状態であったため、短時間の雇用で補助業務や繁忙期などサポートしてもらうことで、人手不足の解消が出来るのではないかと考えた。

○支援の内容

- ・コーディネーターと相談を行う中で、人手不足に困っている業務としてホールスタッフが考えられた。ホールスタッフの主な仕事内容として、接客、商品の提供・片づけ、清掃があり、その中で食器引き、食器洗浄、片づけの3つの業務を切り出し、それぞれの求人票を作成した。
- ・仕事カタログを作成し、説明会などにて説明する機会を提供した。
- ・体験などを通して求職者が実際の業務負担に耐えられるか、確認する場を設けることを提案した。
- ・企業へ電話、訪問にて意向を確認し、雇用後の課題がある場合にはアドバイスを行った。

○支援の結果

<雇用内容>

- ・R5.1.10～R6.1.9（更新後）R6.1.10～R7.1.9 週3日 4時間/1日 食器洗浄
- ・R5.1.16～R6.1.15（更新後）R6.1.16～R7.1.15 週4日 4時間/1日 食器片づけ

高齢であるため就労が出来ていなかった女性、家族の介護と半身の痺れがある影響で長期間働いていなかった男性の2名の方を継続的に雇用している。短時間で食器洗浄、食器片づけの業務を行うことで既存のスタッフの仕事効率が上がり、店舗内でシフトを調整することで運営スタッフとして企業に貢献できている。

○利用企業の声

初めはどのような方が応募に来られるのか分からない状況であったが、現在はスタッフとも打ち解け、しっかりと働いていただいております。採用した2名に関しては、1年以上継続した雇用となっており、企業としても満足しています。

お弁当製造・販売店での雇用事例

小黒食堂

○概要

所在地：飯塚市

業 種：宿泊、飲食サービス業

従業員：18 名

設立年：2014 年

仕事内容：事業所向け弁当の製造と販売



○事業に参加したきっかけ

人員募集を行う中で、業務時間が公共交通機関の稼働していない早朝時間の業務であることから人手不足に困っていた。新たな求人募集の方法としてモデル事業を利用して人員補充を検討することとした。

○支援の内容

- ・ 事業の内容を聞き取る中で、人手を募集している弁当の製造・販売の業務から、業務を切り分け、弁当の盛り付け業務の求人票を作成した。
- ・ 事業利用中の利用者に対して広く求人を公開、質問などがあった際にはコーディネーターが対応し、企業の雰囲気など求人情報には記載していない情報などを伝えた。
- ・ 職場体験終了後、業務の中で希望した求職者にとって難しい作業を分析し、企業と共有することで、業務内容を修正し求人内容を変更した。
- ・ 企業へ電話、訪問にて意向を確認し、雇用後の課題がある場合にはアドバイスを行った。

○支援の結果

<雇用内容>

- ・ R5.7.4～R6.7.3 週3日間 3時間/1日 弁当の盛り付け業務

高齢であり、すでに働いているアルバイトとのダブルワークを希望されることから就職が出来ていなかった女性を雇用した。就労体験にて求職者が高齢であることから業務終盤に体を屈める動作が難しいことが分かり、業務内容を調整することで、業務準備・お弁当の盛り付け業務にて雇用し、業務の人手不足が軽減された。

○利用企業の声

昼食の弁当作りは、早朝から集中して行う作業であることから、短時間で働ける方は今後も企業戦力となるのではないかと感じた。今後も短時間での求人募集を続けて行きたいので、応募をして欲しいと考えている。

デイサービスセンターでの雇用事例

社会福祉法人 新光会

デイサービスセンター わかな

○概要

所在地：飯塚市

業 種：医療福祉業

従業員：15 名

設立年：2010 年

仕事内容：要支援、要介護者を対象に、日帰りで「食事」「入浴」「機能訓練」「レクリエーション」などを提供



○事業に参加したきっかけ

ハローワークや民間の職業紹介などの募集では、応募が全く無く人員を確保できていない。当事業所の仕事は入浴介助等の忙しい時間帯と比較的人員に余裕のある時間帯があり、忙しい時間帯は短時間だったため、人員を確保出来るのではないかと事業に参加した。

○支援の内容

- ・コーディネーターと相談を行う中で、送迎スタッフ、入浴介護スタッフの求人票を作成。
- ・事業利用中の利用者に対して広く求人を公開、質問などがあつた際にはコーディネーターが対応し、企業の雰囲気など求人情報には記載していない情報などを伝えた。
- ・体験などを通して聴覚障がいの人が実際にどのように業務を行えるか、確認の場を設けることを提案。
- ・聴覚障がいの人を採用するにあたり、アプリケーションを利用したコミュニケーションの取り方や支援の方法など提案。
- ・企業へ電話、訪問にて意向を確認し、雇用後に課題が発生した場合にはアドバイスを行った。

○支援の結果

<雇用内容>

- ・R6.2.5～R6.4.5 週5日・1時間／日 入浴介護

聴覚障がいの人を入浴介護の業務にて雇用している。忙しい時間帯である入浴介護業務で雇用することで人手不足が軽減できている。入浴介護という同性の支援を希望されることが多い業務で、週20時間未満での雇用ができたことで、利用者の希望に沿ったサービス提供、運営スタッフのシフト調整などの点でも貢献できている。

○利用企業の声

- ・働きたいが、働きづらさを感じていて、職に就く自信が無い方たちが、当事業所で働くことにより、少しでも自信を取りもどせて、社会復帰が出来るお手伝いができれば良いと考えた。

菓子製造業での雇用事例

株式会社 百年プロジェクト

○概要

所在地：大牟田市

業 種：宿泊、飲食サービス業

従業員：5名

設立年：2015年

仕事内容：ネット販売用のチーズケーキの製造と新商品の開発、
テイクアウト専用のカフェの運営、Web コンサル・マーケティング支援



○事業に参加したきっかけ

就労支援デザイン講座を行っており、他にも地域に密着した福祉サービスなど、今後の事業展開を検討する中で、モデル事業で行われている週20時間未満の雇用に対して興味があり、事業へ参加した。

○支援の内容

- ・ 事業の内容を聞き取る中で、人手を募集している業務として、製造に於ける流れの中で、入荷する材料の荷受け、製造に於ける下準備、作成した製品の梱包、出荷業務の4職種を切り出した。
- ・ 事業利用中の利用者に対して広く求人を公開、質問などがあった際にはコーディネーターが対応し、企業の雰囲気など求人情報には記載していない情報などを伝えた。
- ・ 採用時のイメージが持てるように就労体験の実施を提案。
- ・ 就労体験の際には、コーディネーターが適宜訪問し状況の確認を行った。
- ・ 雇用後、企業へ電話、訪問にて意向を確認し、雇用後の課題がある場合にはアドバイスをを行った。

○支援の結果

<雇用内容>

- ・ R5.4.1～R5.6.30 週5日 3時間/1日 容器洗浄、資材の補充

就労継続支援A型事業所を退職された方を雇用した。ケーキの製造補助として作業を行い企業に貢献出来ていたが、業務を行う上で求職者の身体的・精神的な不調なども発生し、企業も継続雇用を希望しなかったため、3か月の契約期間満了で終了となった。

○利用企業の声

様々な方が応募される状況では、その方にあった受け入れ態勢が必要であると感じ、業務を指導する中で難しさもあった。週20時間未満雇用が多く地域に広がることで、企業としては求職者と巡り合う機会が増え、助かる事だと感じた。

工場内での雇用事例

トータルケア・システム株式会社

○概要

所在地：大牟田市

業 種：サービス業

従業員：15名

設立年：2001年

仕事内容：使用済みの紙おむつのリサイクル（パルプやプラスチックといった各素材に分けて再資源化）



○事業に参加したきっかけ

求人を応募しても応募者が少ない状況の中で、令和4年度に企業説明会に参加し様子見としていたが令和5年度に組合の連絡を受け改めて業務内容を検討し事業に参加した。

○支援の内容

- ・コーディネーターと相談を行う中で、工場内で行っているライン工程作業から、パルプシートの積み上げ作業で求人を募集することとした。一日に2チームで行う、チーム制であるため、時間帯に合わせて業務を切り出した。
- ・事業利用中の利用者に対して広く求人を公開、質問などがあつた際にはコーディネーターが対応し、企業の雰囲気など求人情報には記載していない情報などを伝えた。
- ・採用を検討する際に、求職者から聞き取った内容を本人に了承を得て企業にも共有した。
- ・企業へ電話、訪問にて意向を確認し、雇用後の課題がある場合にはアドバイスをを行った。

○支援の結果

<雇用内容>

・R5.11.13～ 週5日 7:30～11:30 パルプシートの積み上げ作業、工場内の清掃、梱包資材の準備障がい（精神障がい）があり働きづらさを抱える男性の雇用が出来ている。工場内で行うチーム作業の中から、おむつからパルプシートを作るライン工程作業でシートを積み上げ、固定する作業を依頼し、チームで行う作業の一員として貢献できている。

○利用企業の声

作業員に欠員が出たため求人を出していましたが、なかなか応募が無く困っていました。

そんな時に今回の福岡県就労支援のお話を伺いました。

最初は、力仕事などがあるため取り組むにはハードルが高いかと思っていましたが、当社の工場内を見ながら詳しくお話を伺ったところ、作業を分割することでお願い出来るということが分かりました。これにより軽作業が生まれ、今回の支援を活用させていただくことが出来ました。

今回の支援で得たものは貴重な人材の他に、作業の分割による既存作業員にとっての働き方の見直しが出来たことです。

小売業での雇用事例

スーパースポーツゼビオ

ゆめタウン大牟田店



○概要

所在地：大牟田市 業 種：卸売り業、小売り業

従業員：28 名 設立年：1973 年

仕事内容：オンラインストア業務・後方作業

○事業に参加したきっかけ

商業施設のテナント店長会議でモデル事業を知った。これまでに週 20 時間未満の雇用の実績があり、週 20 時間未満の雇用でも企業戦力になると考えた。モデル事業を通して就職を懸念していた人が企業を知るきっかけになるのではないかと考えた。

○支援の内容

- ・業務内容を聞き取り、求職者の傾向や働き方の事例をもとに相談を行う中で、週 20 時間未満で依頼したい業務として、オンラインストア業務などを切り出した。
- ・事業利用中の利用者に対して広く求人を公開、質問などがあった際にはコーディネーターが対応し、企業の雰囲気など求人情報には記載していない情報などを伝えた。
- ・求職者から見学の希望があった際には、同行し雇用の判断を行う機会を提供した。
- ・面接に同行し、求職者が伝えたい内容などを確認することで、ミスマッチを事前に防げるように確認を行った。
- ・企業へ電話、訪問にて意向を確認し、雇用後に相談がある場合にはアドバイスを行った。

○支援の結果

<雇用内容>

- ・ R6.3.1～R6.5.31 週3日 4時間／1日 オンラインストア業務・後方作業

長期無業者であった男性を雇用している。求職者と相談する中で、企業が行って欲しい業務と求職者の希望を確認しすり合わせを行うことで、勤務時間や休憩時間など働き方を確認しながら、無理なく勤務時間や業務の幅を増やしていけるよう検討できるよう支援を行っている。

○利用企業の声

- ・モデル事業の対象が、働きづらさを抱える人となっているため、雇用を行うときに見学や体験などを行う必要性は大いに感じた。

2. 求職者就労事例

高齢者の就労事例

飲食店で働く高齢者

○概要

年齢：50代前半

性別：男性

働きづらさの内容：半身に手足の痺れがあり、行える業務に制限がある。在宅にて家族の介護を行っており、仕事へのブランクがある。コミュニケーションは苦手意識がある。



○事業に参加したきっかけ

福岡県が主催する正社員チャレンジプログラムに参加しており、仕事を探していたが、勤務可能な求人が少なく、また選考落選が続いていた。チラシにより求職者説明会を知り参加した。

○支援の内容

- ・相談を行う中で、就職に向けた本人の意向を確認した。
- ・応募の際に履歴書を確認し添削を行った。
- ・企業へ同行・同席を実施し、職場見学を通して業務内容を確認した。
- ・就労決定後、電話・職場訪問を行うことで業務を行う上で発生した課題を確認し働き方のフィードバックやアドバイスをを行った。

○支援の結果

<就労内容>

企業：九州筑豊ラーメン山小屋 穂波店

期間・時間：R5.1.10～R6.1.9（更新後）R6.1.10～R7.1.9 週3日 4時間／1日

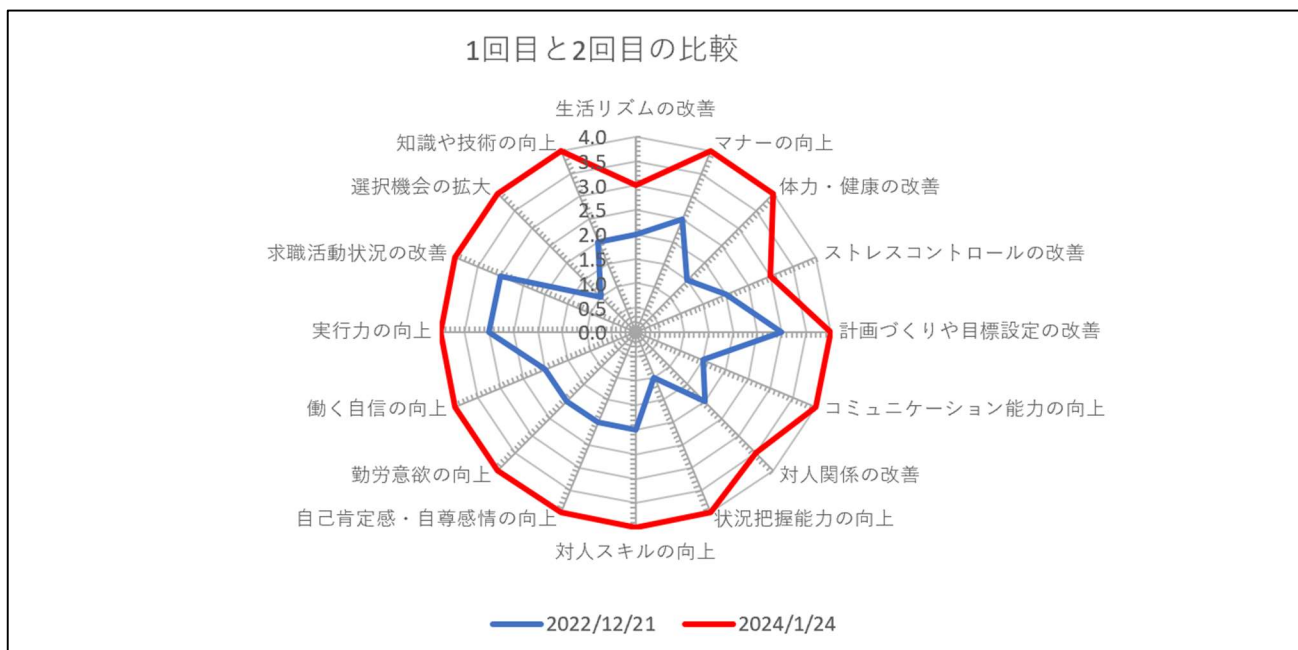
仕事内容：食器洗浄、補助業務

働きづらさとして、半身麻痺があり、これまでに冷水を使い過ぎて血流が悪くなり痺れが出たり、食器を運ぼうとしてお皿を割ったりしてしまうなどの状況も見られた。これらに対しては、冷水を使う際にはゴム手袋を使うことや、食器を運ぶ際には、重たい物や液体が入っている物などは不安定になることが多いため、食器を下げるなどの業務を中心に行うなどの勤務形態や職場環境を調整するなどの定着支援を行うことで、継続した就労が行えた。

○事業利用者の声

利用する前は、生活リズムもバラバラで、働きたい気持ちはあったが自分に合った働き方がわからなかった。応募に関しても相談することができ、面接にも同行していただけたことが嬉しかった。入社後も困ったことを相談でき、一人で考えるのではなく相談しながら仕事の内容を調整することが出来るので継続して働けている。働くことで生活リズムが安定し収入もあることで金銭的にも不安が減った。

○事業利用前後の変化



【グラフの見方（以降共通）】

青線が事業利用前、赤線が事業利用後

KPS ビジュアルライズツール※GN25 による自己評価を反映

※KPS ビジュアルライズツールとは

一般社団法人京都自立就労サポートセンターが公開している、就労準備支援事業利用者の日常生活、社会的能力、就労意欲の変化を捉えることができる個人評価ツール

本事業共通のアセスメントツールであり、利用者・支援者のアンケート結果をもとに訓練効果の可視化を行う <https://www.kyoto-ps.com/vt/>

○支援により改善が見られた項目

・相談支援

計画づくりや目標設定の改善、状況把握能力の向上、就労意欲の向上

・求人応募・面接支援

実行力の向上、就職活動状況の改善、選択の機会の拡大

・定着支援

生活リズムの改善、体力・健康の改善、マナーの向上、ストレスコントロールの改善、コミュニケーション能力の向上、対人関係の改善、対人スキルの向上、自己肯定感・自尊感情の向上、働く自身の向上、知識や技術の向上

高齢者の就労事例

飲食店で働く高齢者

○概要

年齢：70 代前半

性別：女性

働きづらさの内容：高齢に伴う体力的な不安。通院があり仕事と私生活のバランスがとりにくい。



○事業に参加したきっかけ

仕事を探していたが、高齢であり身体的な影響や、日常生活との両立から就職先が見つからず、仕事は諦めていた。飯塚市役所に立ち寄った際に、偶然モデル事業の説明会があることを知り参加、週 20 時間未満であれば働けるかと思いモデル事業へ参加した。

○支援の内容

- ・相談を行う中で、就職に向けた本人の意向を確認した。
- ・面接時には初めての業種であることから求職者の不安もあったため、企業へ同行・同席を実施し、職場見学を通して業務内容を確認した。
- ・就労決定後、定期的に電話でのヒアリング・職場訪問を行うことで業務内容が過負荷にならないよう、働き方のフィードバックやアドバイスを行った。

○支援の結果

<就労内容>

企業：九州筑豊ラーメン山小屋 穂波店

期間・時間：R5.1.16～R6.1.15（更新後）R6.1.16～R7.1.15 週 5 日 4 時間／1 日

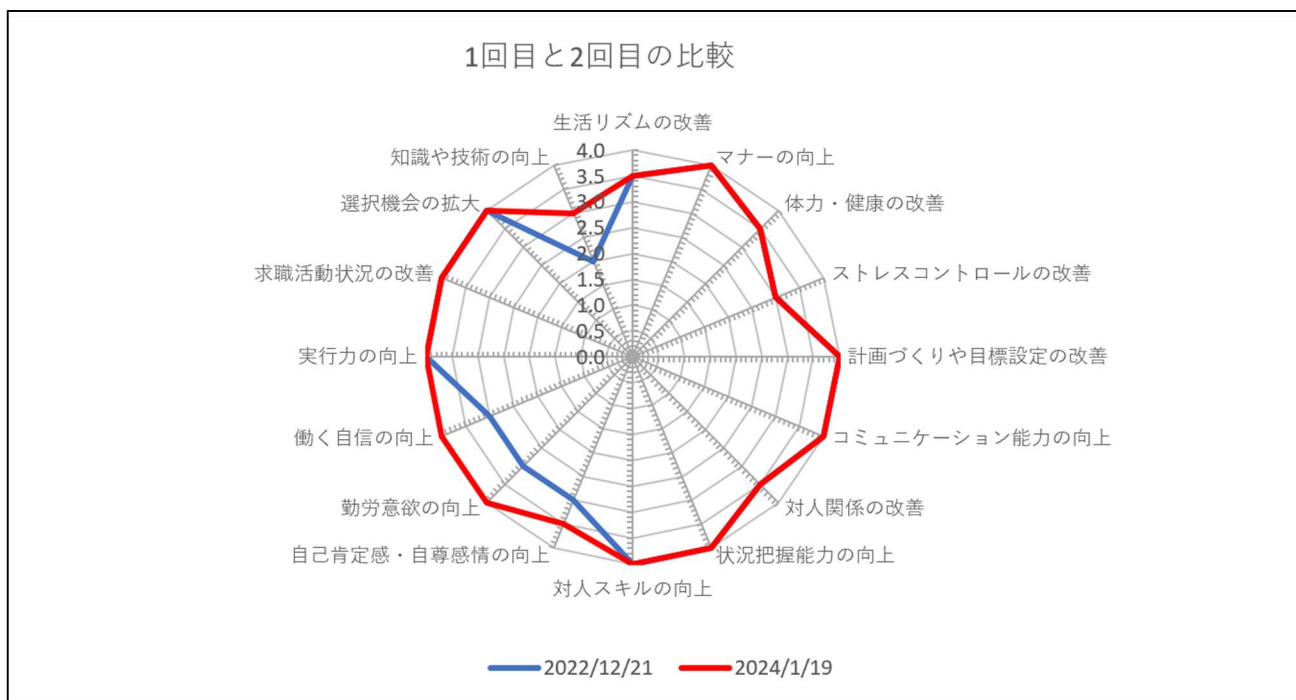
仕事内容：食器の片づけ、補助業務

飲食店にて食器片づけの業務、一日 4 時間の週 5 日にて就労を開始。仕事の時間も本人と企業に調整を行う中で増え、就労開始時の契約であった 1 年間の契約期間満了後、契約更新となった。現在は働く時間や業務の幅を増やしていきたいとの意向もあり、自ら企業と調整を行うなどの様子も見られてきている。現在は定着支援の必要性はないと思われるレベルであり、今後週 20 時間以上の勤務を行う予定である。

○事業利用者の声

年齢的にも働く場所がないと思っていたが、20 時間未満の働き方を説明会で知り自分にもできるのではないかと思った。相談を行う中で、企業を選び見学や体験を行うことで初めての業種であったが不安も少なかった。面接に同行してもらえることが心強く、定期的な聞き取りも行ってもらえるため、安心して働き続けている。就職は難しいと諦めていたが、1 年間継続して週 20 時間未満で無理なく働けた。覚えることはたくさんあるが、自宅にいるよりも働いている方が好きなので、改めて働けて嬉しい。今後は企業に相談しながら、体が許す限り働く時間を増やしていきたいと思っている。

○事業利用前後の変化



○支援により改善が見られた項目

- ・相談支援

勤労意欲の向上

- ・定着支援

自己肯定感・自尊感情の向上、働く自身の向上、知識や技術の向上

高齢者の就労事例

お弁当製造・販売で働く事例

○概要

年齢：70 代前半

性別：女性

働きづらさの内容： 高齢であることから就職が決まらない状況であった。



○事業に参加したきっかけ

生涯現役チャレンジセンターやハローワークなどで就職活動を行っていたが、高齢であることや現在アルバイトとして勤務している職場とのダブルワークができる職場を希望しており、就労には至っていなかった。市役所に別の用事で来た際に事業を知り参加。

○支援の内容

- ・ 求人紹介を行い、本人が希望する職場で体験を実施し職場見学を通して業務内容を確認。
- ・ 職場体験を行う中で、業務終盤に屈んでの作業があり身体的に動作が難しいことがわかった。体験終了後、企業に相談を行う中で、就業開始時間を 1 時間早め別の作業を行うことで、業務終盤に屈んでの作業を業務内容から覗くなどを検討していただき、求人内容を修正し再度体験を実施し、応募前、雇用前の不安の軽減に努めた。
- ・ 就労決定後、定期的に電話でのヒアリング・職場訪問を行うことで業務を行う上で困っている内容や課題のヒアリングに努めた。

○支援の結果

<勤務内容>

企業： 小黒食堂

期間・時間： R5.7.4～R6.7.3 週3日 3時間／1日

※私用の理由により、10月1日をもって就労終了

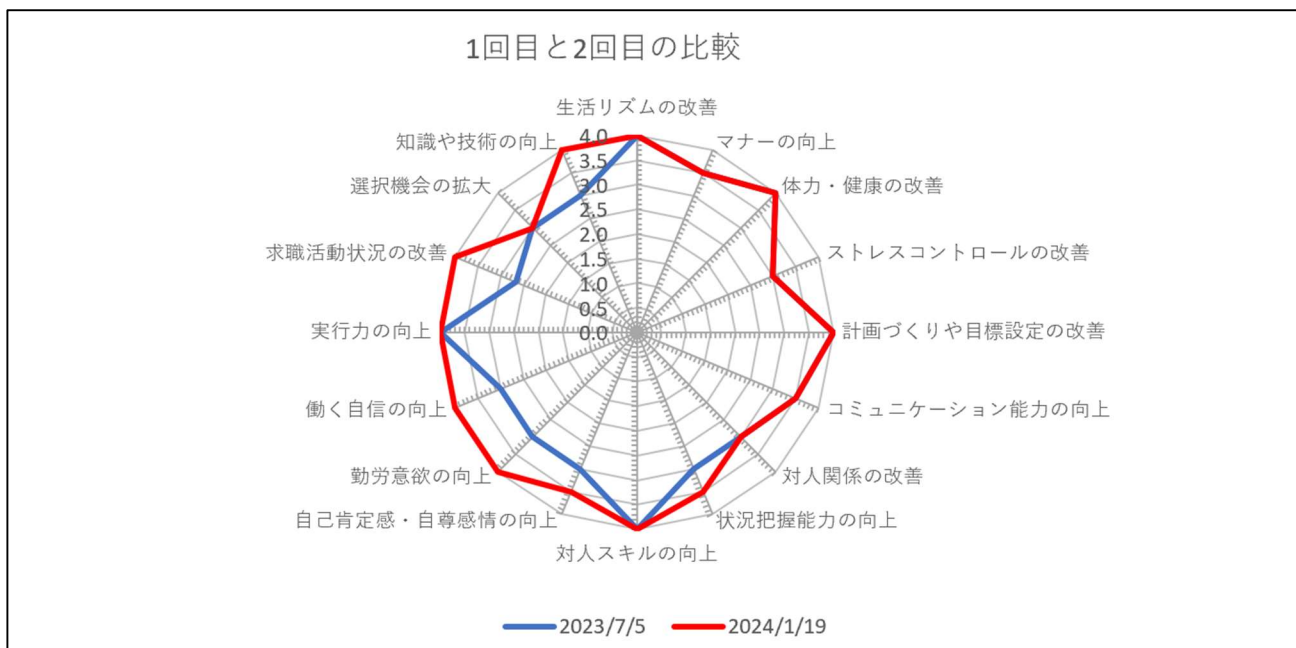
仕事内容： 弁当の盛り付け

職場体験終了後、業務内容を調整し弁当の盛り付け業務にて就労を開始。仕事の日時を調整することで、ダブルワークでの仕事が行えている。定期的に確認を行うことで業務内容が、過負荷にならないよう本人と相談し調整しながら働くことが出来た。

○事業利用者の声

以前働いていた仕事がなくなり、家族に迷惑をかけたくないとの思いもあり仕事を探していた。週 20 時間未満の働き方を知り、肉体的にも負担が少ないと感じた。見学を行った際に屈む動作が難しいことを相談すると、企業と相談し業務を調整していただいたことで、応募を行う際の身体的不安は少なかった。実際に働く中で、「私で大丈夫だろうか」「本当に働いていけるのだろうか」との不安もあったが、定期的に相談を行えることが嬉しかった。

○事業利用前後の変化



○支援により改善が見られた項目

・相談支援

勤労意欲の向上

・求人応募・面接支援

就職活動状況の改善

・定着支援

状況把握能力の向上、自己肯定感・自尊感情の向上、知識や技術の向上

障がい者の就労事例（聴覚障がい）

デイサービスセンターで働く事例

○概要

年齢：60 代後半

性別：男性

働きづらさの内容：聴覚障がい



○事業に参加したきっかけ

年齢的に高齢であることや持病（聴覚障がい）があるという事で、就労の機会に恵まれずに、地域の困りごと相談所に相談を行っていたところ、週 20 時間未満就労事業を知った。複数の求人票を拝見し、健康的にも体を動かせて、楽しく働ける仕事を探していたが、高齢、聴覚障がいから就職には至っていなかった。利用している支援機関から事業の紹介があり参加した。

○支援の内容

- ・希望条件等の確認、職務経歴の確認を行った。既存の支援機関と連携を行った。
- ・求職票登録確認、履歴書確認支援。職場見学・体験を行った。求人内容に添った配慮事項等のヒアリングを行った。
- ・就労決定後、定期的に電話でのヒアリング・職場訪問を行うことで業務を行う上で困っている内容や課題のヒアリングに努めた。
- ・障がい者支援に携わる組合コーディネーターの経験を生かし、筆談環境整備及び防水対策を行った携帯アプリケーションによるコミュニケーション対応等の導入支援を行うことで、スムーズな意思疎通ができるようになった。

○支援の結果

<勤務内容>

企業：社会福祉法 新光会 デイサービスセンター わかな

期間・時間：R6.2.5～R6.4.5 週 5 日・1 時間／1 日

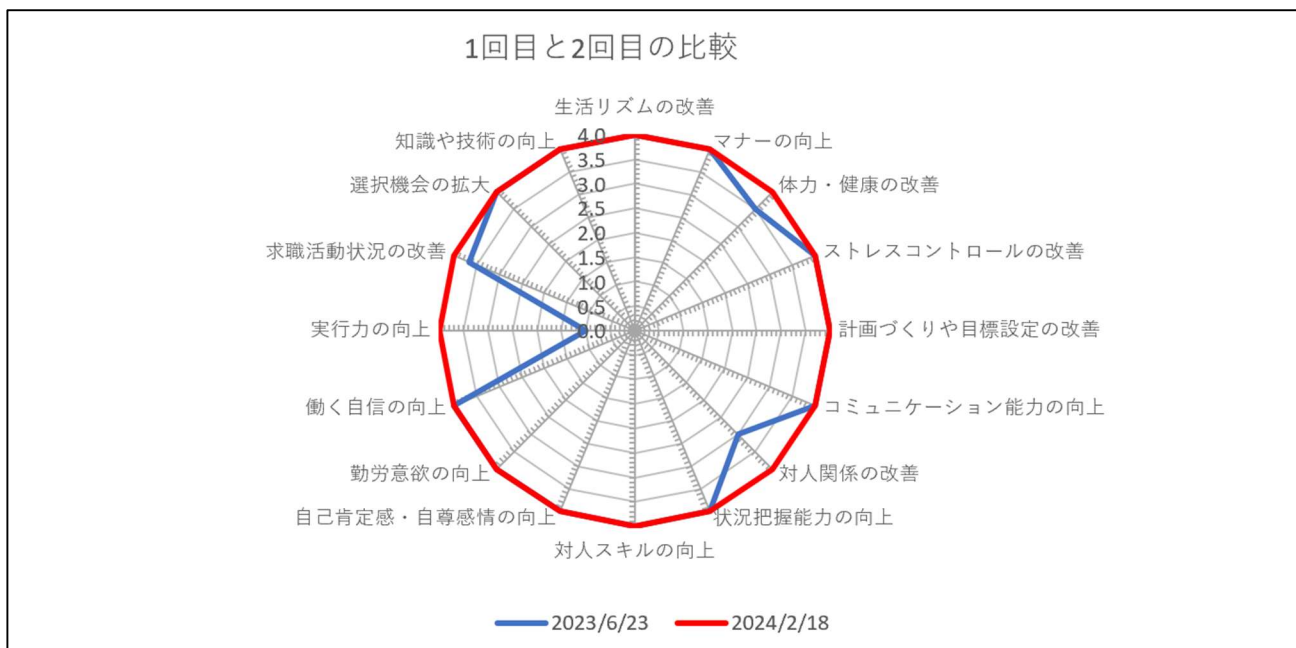
仕事内容：入浴介護

男性の入浴介護にて就労開始。企業からの提案もあり今後は企業と相談を行いながら勤務時間や業務の幅を増やしていくことを検討している。携帯の音声文字起こしアプリケーションを使用して一緒に働くスタッフともコミュニケーションを円滑に取ることが出来ている。

○事業利用者の声

自分に出来る働き方を模索しており、就労イメージを持つことができていなかった。仕事をする中でも、筆談を行う必要があると考えており、円滑にコミュニケーションが取れるか不安もあった。見学や体験ができたことで、デイサービスセンターわかなに就職する事ができ聴覚障がいにも、携帯アプリケーションを使っのコミュニケーションを行うなど会社側や支援機関の配慮もあり楽しく働けている。

○事業利用前後の変化



○支援により改善が見られた項目

・ 求人応募・面接支援

実行力の向上、求職活動状況の改善

・ 定着支援

体力健康の改善、対人関係の改善、

障がい者の就労事例（精神障がい）

菓子製造業で働く高齢者

○概要

年齢：60代前半

性別：女性

働きづらさの内容：障がい者就労施設を退所し、新たな働き先を探しているが、一般企業で就職できるか不安がある。体調、精神的にも心配である。



○事業に参加したきっかけ

障がい者就労施設で5年近く働いていたが令和4年4月に定年を迎えるにあたり、それ以降のことを事業所で相談していたところ、短時間労働の説明会の話を聞いたので参加することにした。

○支援の内容

- ・相談を行う中で、就職に向けた本人の意向を確認しながら支援を行った。
- ・採用を行う前に職場体験を7日間実施。体験初期には同席を行い、定期的なヒアリングを行うことで、不安の軽減に努めた。
- ・就労決定後、定期的に電話でのヒアリング・職場訪問を行うことで業務内容が過負荷にならないよう、働き方のフィードバックやアドバイスを行った。

○支援の結果

<就労内容>

企業：株式会社 百年プロジェクト

期間・時間：R5.4.1～R5.6.30 週5日・4時間／1日

仕事内容：調理補助（容器洗浄、資材の補充）

菓子製造業にて容器の洗浄、資材の補充、細かい材料を容器に補充の業務で就労を開始。一日3時間の週5日にて勤務をスタートした。初めての作業であったが、定着支援を行いながら実施することで少しずつ不安を経験しながら業務に慣れていくことが出来た。

○事業利用者の声

事業所を退所することが決まっており、その後の収入に対する不安があり、自分に合う働き方もわからず悩んでいた。施設の時は、週5日4時間程度働いていたが、ほとんどの作業がテーブルワークで慣れた作業だった。今回、少人数で立ちっぱなしの状態ではじめてする作業だったので不安があったが、仕事の内容も理解ができ、負担に思うことなくできた。職場の雰囲気も良く、他の従業員さんも優しく声掛けをしてもらったので、思った以上に時間が経つのが早く感じて、とても楽しく仕事できた。就労後も、定着支援で職場に来ていただけていたので嬉しかった。

○事業利用前後の変化

- ・データを収集できなかったため、記載なし

障がい者の就労事例（精神障がい）

工場内で働く障がい者の事例

○概要

年齢：30代前半

性別：男性

働きづらさの内容：うつ病、長時間立っての作業を行うことが難しいなどの身体不調がある。



○事業に参加したきっかけ

既存の職業紹介機関を利用し、仕事を探していたが、職歴期間で腰痛及び精神疾患の診断により、近年は就労にたどり着かない状況であった。そのような中、県のホームページで当事業の情報を得て、求職者説明会に参加した。

○支援の内容

- ・各種希望条件の確認、職務経歴、定期的な就労意欲の確認を行った。
- ・求職票登録確認、履歴書確認を行った。求人内容に添った配慮事項等のヒアリングを行った。
- ・就労決定後、定期的に電話でのヒアリング・職場訪問を行うことで業務内容が過負荷にならないよう、働き方のフィードバックやアドバイスをを行った。
- ・本人が業務の幅や業務時間を延ばしていきたいとの意向から、体調を考慮し勤務が安定してきた際には保有する資格（フォークリフト）を活用した業務が行えないか企業と相談を行っている。

○支援の結果

<就労内容>

企業：トータルケア・システム株式会社

期間・時間：R6.11.13～ 週5日 4時間／1日

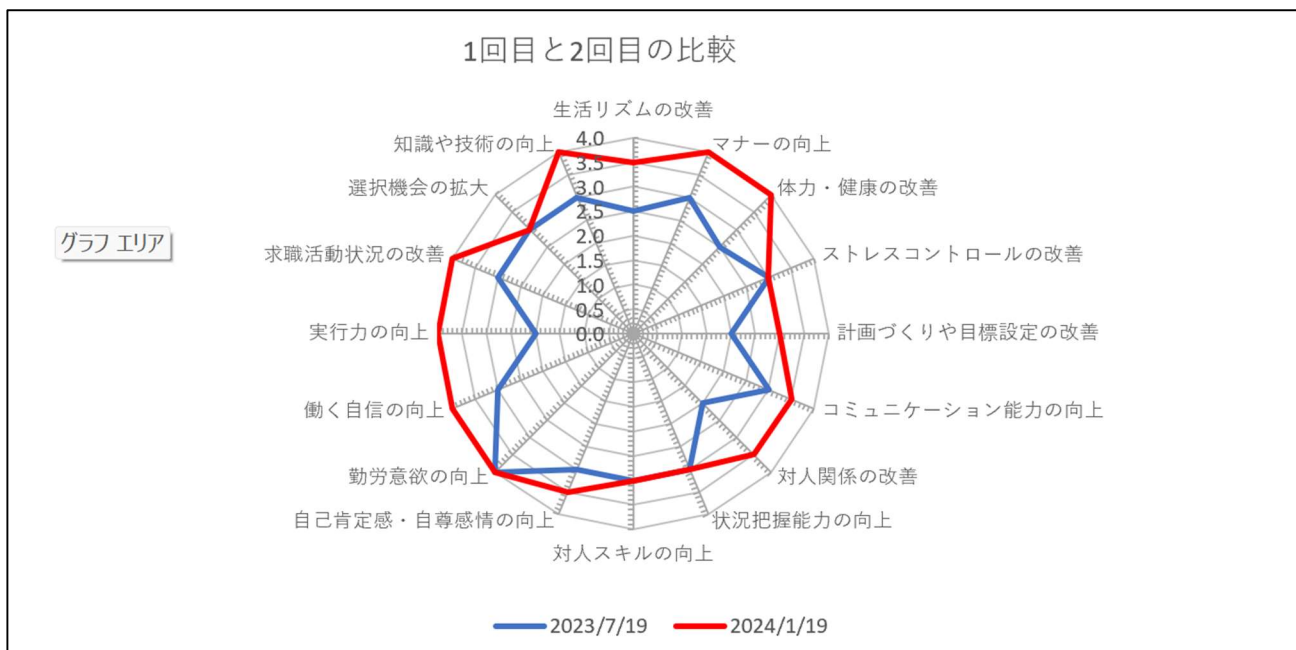
仕事内容：パルプシートの積み上げ作業、工場内の清掃、梱包資材の準備

工場内業務でのライン作業の一員として就労を開始。病院への通院や自身の体調との調整を行いながら勤務日数の調整が行えている。積極的に他の業務を手伝う様子も見られており、今後は勤務時間や業務の幅を増やしていきたいとの意向もあり、コーディネーターが間に入りながら企業とも相談している。

○事業利用者の声

単独で、ハローワークの求人票を頼りに、複数社面接を行っていた。事業を利用することで、自分に出来る仕事を短い時間から働けることが分かった事、支援者に相談しながら進めていけた事、見学・面接書類確認など相談しながら、進めていけた事で面接に於いても安心感があった。また、就労後も定着支援を自分だけでなく企業にも実施して頂く事で、働き続けられている。慣れてきたら企業に勤務時間の延長と資格をいかした作業の幅の拡大をしていただけるよう相談しながら進めていきたいと考えており、企業にも相談を行っていききたいと考えている。

○事業利用前後の変化



○支援により改善が見られた項目

・相談支援

計画づくりや目標設定の改善

・求人応募・面接支援

マナーの向上、コミュニケーション能力の向上、実行力の向上、求職活動状況の改善

・定着支援

生活リズムの改善、体力・健康の改善、対人関係の改善、自己肯定感・自尊感情の向上、働く自身の向上、知識や技術の向上

生活困窮者の就労事例

バックオフィスで働く生活困窮者の事例

○概要

年齢：30 代前半

性別：男性

働きづらさの内容：生活困窮者 長期無業者

○事業に参加したきっかけ

大牟田市で電話営業を行う企業に就職したが、1 か月で退職。大牟田市福祉課の紹介で、生活保護の受給や若者サポートステーションでの面接練習などの就職活動を行ってきた。新たな就職活動として、モデル事業を紹介されて参加。

○支援の内容

- ・ 相談を行う中で、これまでの職歴や退職理由から希望する働き方などを確認。
- ・ 求人提供を行う中で、本人が希望する企業で職場見学を実施し業務内容を確認。
- ・ 応募の際に、履歴書の添削、服装や面接時の対応などをアドバイス。
- ・ 地域の支援機関へ情報共有し、面接練習を行って頂くなどの支援の連携を実施。
- ・ 面接の際には同席し、事前に聞取った内容をもとに質問をサポート。
- ・ 就労決定後、定期的に電話でのヒアリング・職場訪問を行うことで業務を行う上での不安点などを聴取しアドバイスをを行うなど定着支援を実施した。

○支援の結果

< 就労内容 >

企業：ゼビオ株式会社 スーパースポーツゼビオ ゆめタウン大牟田店

期間・時間：R6.3.1～R6.5.31 週3日 4時間／1日

仕事内容：オンラインストア業務・後方作業

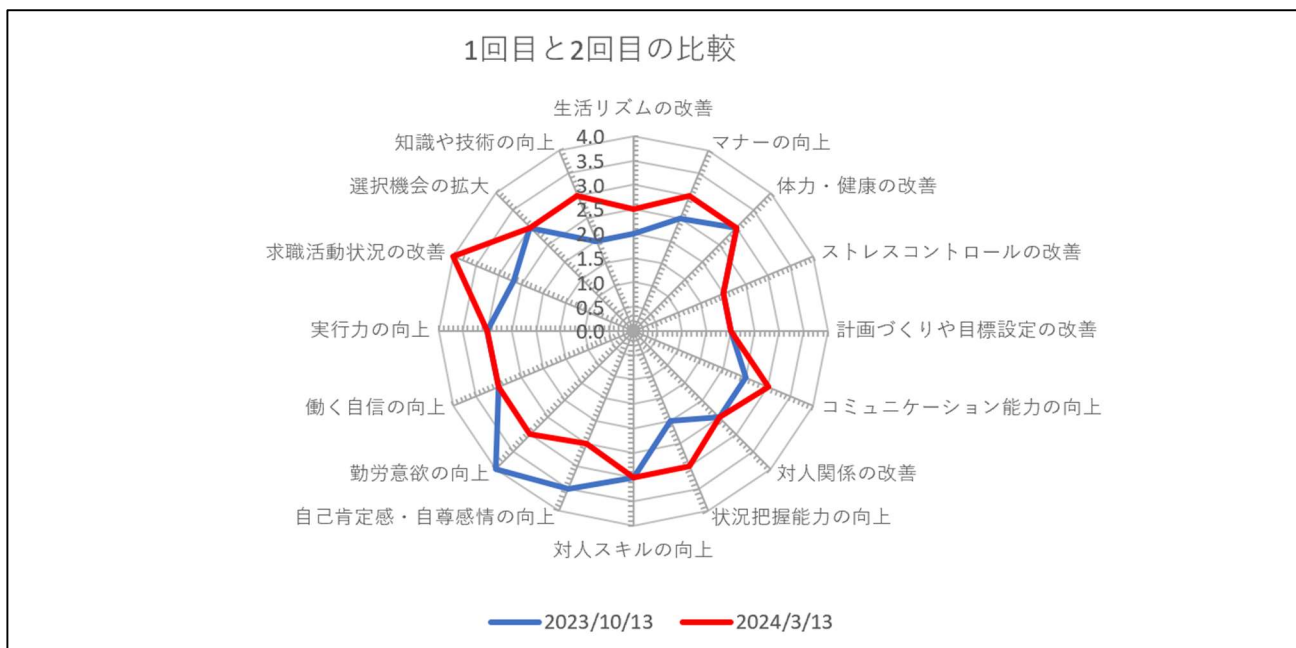
支援当初は、仕事にブランクがあることから、いきなりフルタイムでの業務は不安があった。業務を行う中でも対人コミュニケーションに対する不安や継続していけるかなどの不安も聞かれた。内容を聞き取り一緒に対応策を検討し成功体験を積み重ねていくことで、不安の軽減を行いながら継続して就労出来ている。

○事業利用者の声

どのように就職活動を行っていけばよいのかわからない状況であったが事業を利用する中で、相談ができた。企業に事前に見学を行うことができ業務のイメージを掴むことが出来たため、安心して就職活動を行えた。相談や就労準備など一緒に動いていただけることが嬉しかった。就労後も働くことで新たな不安が出て来たが、定着支援として相談が出来るので一人で不安になることなく就労継続が出来ている。



○事業利用前後の変化



○支援により改善が見られた項目

・相談支援

マナーの向上、状況把握能力の向上、勤労意欲の向上

・求人応募・面接支援

生活リズムの改善、求職活動状況の改善

・定着支援

コミュニケーション能力の向上、自己肯定感・自尊感情の向上、知識や技術の向上



本誌に掲載されている原稿・写真などの無断転載を禁じます。

【編集・デザイン】

福岡県就労支援協同組合 事務局 中島 滉介